



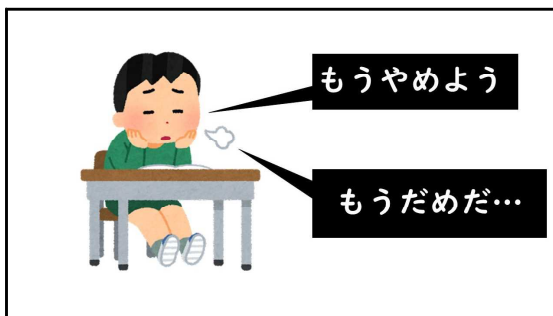
# 絆（きずな）

目指す児童像

- やさしい子
- よく考える子
- ふるさと思いの子

## 継続は力なり ～ 3月の校長講話より～

2月27日の全校朝会で「続けることの大切さ」について、ある児童の作文をもとに話しました。全国規模のコンクールで入賞した2年児童の作文です。引用します。



つづけること 2年 門口江臣子（もんぐち えみこ）

「ま、今日ぐらいいいわ。」とかるい気持ち。  
「なんとかなるわ。」と、また1日さぼって。  
（ダメだなあ。）と、思いながらまたサボり。

おさぼりのかけらがあつまって、大きな大きなジグソーパズルが心の中で、できあがってゆく。

でも、あと1まいというところで、パズルは、かんせいしないんだ。だって…。

「ちゃんとサボらずにしていた私はどこ！」と、はんせいする一かけらと、  
「どうせ、こんなのあしたにしたらいいの。」  
という一かけらが、ぼしょのとりあいをして、どっちが本もの？どっちがえみ子？とギューギュー、ケンカして、やっぱりがんばりやさんがかったから。

## つづけること

けいぞく ちから  
**継続は力なり**

校長講話で使用したスライドの一部

楽をつみかさねることは心の中は楽じゃない。いつも、おちつかない。

こつこつしんどいのをつみかさねることは、つらくてしんどいけど、心は、晴れ晴れしているのはなぜかな？

「つづける」ことは、かんたんそうで、すごくむずかしい。  
時間があるし、力があるし、ゆうきもいる。

だけどつづけていたら、あとで百ばいうれしいことがかえってくる気がするよ。

サボりたい自分の心と頑張らなくっちゃと思う自分の心の葛藤が描かれています。淡々と読みました。3学期は残り約3週間。今までできなかったことをできるようにするための努力を続けることの大切さを話して締めくくりました。